2018年12月期 3Q

決算説明資料

2018年11月９日　株式会社フルキャストホールディングス（4848）

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

目次

- P３　FY2018　３Ｑ業績サマリー
- P５　FY2018　３Ｑ連結業績（2018年１月～９月）
- P８　FY2018　３Ｑセグメント業績　短期業務支援事業（2018年１月～９月）
- P11　FY2018　３Ｑセグメント業績　営業支援事業（2018年１月～９月）
- P13　FY2018　３Ｑセグメント業績　警備・その他事業（2018年１月～９月）
- P15　新会社の設立及び営業開始について
- P17　北海道胆振東部地震による影響について
- P19　FY2018　３Ｑ業績予想進捗

- 当資料では、セグメントである短期業務支援事業の表記を「短期」、営業支援事業を「営業」と一部で記載しております。
- 第１四半期連結会計期間において株式会社ＢＯＤ株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。同社の業績は、短期業務支援事業に計上しております。
- 第２四半期連結会計期間において、株式会社ＢＯＤは、決算日を12月31日に変更し、連結決算日と同一になっております。なお、同社は従来から連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しているため、当該変更が四半期連結財務諸表に与える影響はございません。その他の連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。
- 当第３四半期連結会計期間においてミニメイド・サービス株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。
- ミニメイド・サービス株式会社の株式は、2018年９月30日をみなし取得日としており、当該子会社については、当第３四半期連結累計期間は四半期貸借対照表のみを連結しているため、当第３四半期連結損益計算書に被取得企業の業績は含まれておりません。
- 2018年12月期より、従来の「代行」サービスを、「ＢＰＯ」サービスに呼称を変更しております。
- 当資料では、2012年10月１日の労働者派遣法改正法の施行に合わせて開始した、短期業務支援事業における「アルバイト紹介」を「紹介」、「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに株式会社ＢＯＤが行っているＢＰＯサービスを「ＢＰＯ」と、各々サービス名を省略して記載しております。また、労働者派遣法改正法の施行後も継続して行っている契約期間が31日以上の「長期派遣」サービスを「派遣」と記載しております。

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

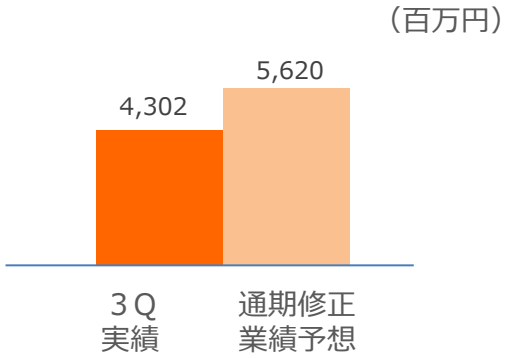
FY2018 ３Ｑ　業績サマリー

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

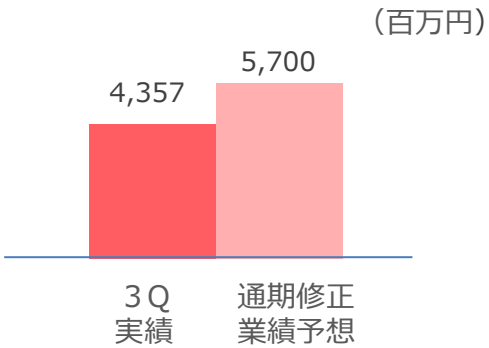
■既存主力サービスの成長を維持し、連結業績は順調に推移

- 当社グループの既存主力サービスを伸張させたことを主因として、連結業績は前年同期比増収増益となった。
- 通期修正業績予想に対して、連結業績は順調に推移している。

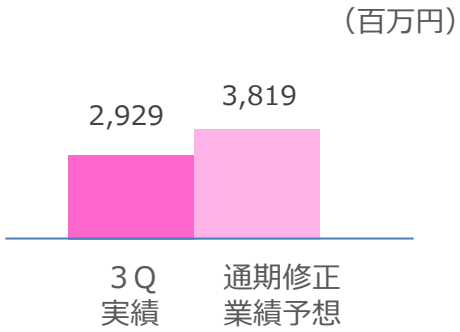
営業利益（進捗率76.6%）



経常利益（同76.4%）



親会社株主に帰属する
四半期純利益（同76.7%）



■グローバル人材に特化した人材サービスを提供する新会社の設立及び営業開始

- 外国人を中心とした人材サービス（人材派遣・人材紹介）を提供する新会社「株式会社フルキャストグローバル」を設立、2018年10月１日より、営業を開始した。
- なお、本件による当社グループの今期業績への影響は軽微である。

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

FY2018 ３Ｑ　連結業績
（2018年１月～９月）

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

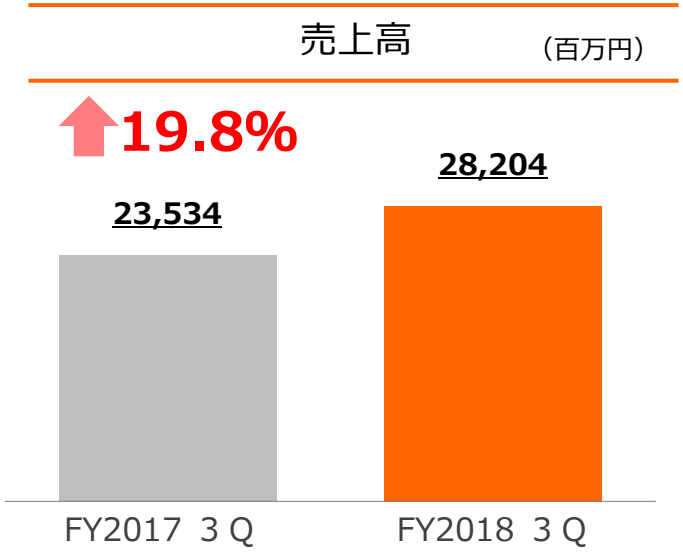
連結　FY2018 ３Q　前年同期比較

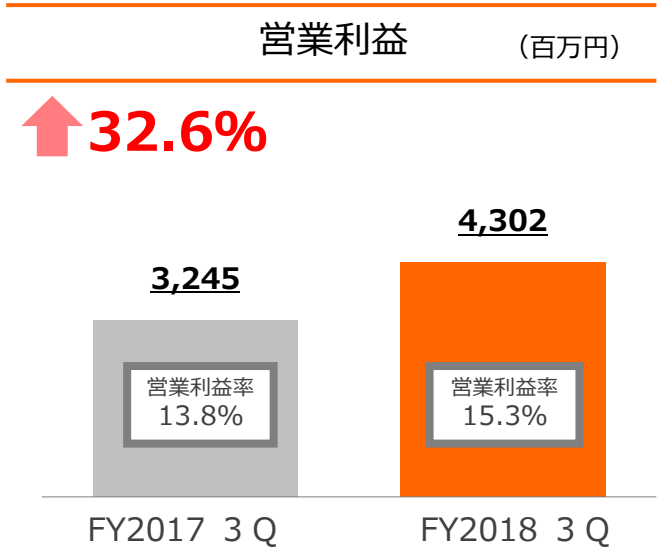
【売上高増減要因】

◆ 主力事業である短期業務支援事業において、株式会社ＢＯＤの業績を取り込んだことに伴い「ＢＰＯ」が伸張したことに加えて、上期より継続して、既存主力サービスである「紹介」及び「ＢＰＯ」が伸張したことを主因として、前年同期比**19.8%の増収**となった。

【営業利益増減要因】

◆ 短期業務支援事業が増収したことを主因とし、営業利益は前年同期比**32.6%の増益**となり、営業利益率は**1.5PT改善**した。





Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

連結　FY2018 3Q　前年同期比較

- 営業利益が増益したことで、経常利益は前年同期比**35.1%の増益**となった。
- 前期に繰越欠損金を解消し、当第３四半期連結累計期間の税金負担額が増加したこと及び前年同期は「段階取得に係る差益」（※）167百万円を計上していたことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比**32.6%の増益**となった。

（百万円）

	FY2017 3Q	FY2018 3Q	増減額	増減率
売上高	23,534	28,204	4,670	19.8%
売上総利益	9,245	12,072	2,827	30.6%
販管費	6,000	7,770	1,770	29.5%
営業利益	3,245	4,302	1,057	32.6%
営業利益率	13.8%	15.3%	—	1.5PT
経常利益	3,225	4,357	1,132	35.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,209	2,929	720	32.6%

※「段階取得に係る差益」とは、持分法適用関連会社であった株式会社エフプレイン株式の追加取得により子会社化した際に、従来の持分を時価で見直し、時価が簿価を上回っているために発生した現金の移動を伴わない差益であります。

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

FY2018 ３Ｑ　セグメント業績
短期業務支援事業
（2018年１月～９月）

- 「短期業務支援事業」セグメントに属する株式会社ＢＯＤは、第２四半期連結会計期間において決算日を12月31日に変更し、連結決算日と同一になっております。なお、同社は従来から連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しているため、当該変更が四半期連結財務諸表に与える影響はございません。

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

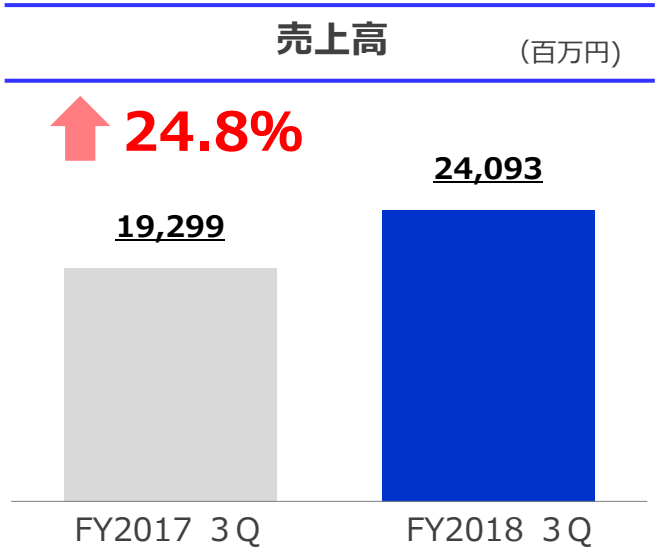
短期　FY2018 3Q　前年同期比較

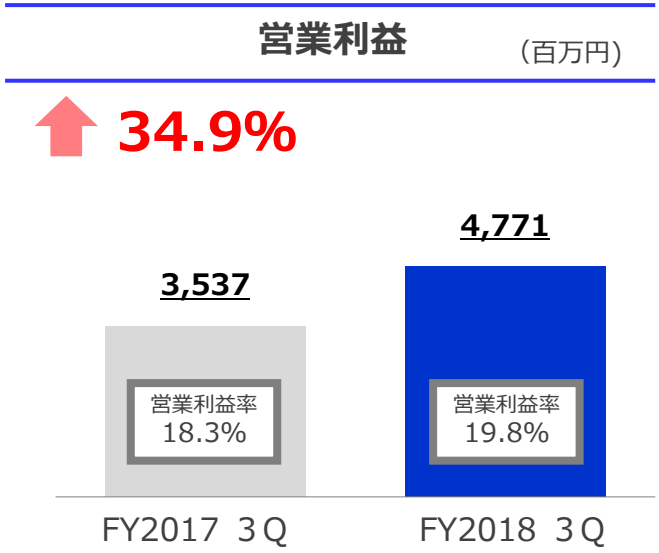
【売上高増減要因】

- 株式会社ＢＯＤの業績を取り込んだことで「ＢＰＯ」が伸張したことに加えて、顧客企業の採用状況が逼迫し、既存主力サービスである「紹介」及び「ＢＰＯ」の売上高を確保できたことを主因とし、前年同期比**24.8%の増収**となった。

【営業利益増減要因】

- 既存主力サービスが増収したことを主因として、営業利益は前年同期比**34.9%の増益**となり、営業利益率は**1.5PT改善**した。





Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

短期　FY2018 3Q　前年同期比較（サービス区分別）

（百万円）

	FY2017 3Q	FY2018 3Q	増減額	増減率
売上高	19,299	24,093	4,794	24.8%
紹介	3,382	4,046	664	19.6%
BPO	2,067	4,351	2,284	110.5%
派遣	11,294	13,125	1,831	16.2%
請負	2,556	2,571	15	0.6%
売上総利益	7,667	10,686	3,019	39.4%
紹介	3,271	3,923	652	19.9%
BPO	2,063	4,184	2,121	102.8%
派遣	1,807	2,088	281	15.6%
請負	527	491	▲36	▲6.8%

- 新たに連結子会社とした、株式会社ＢＯＤの業績を取り込んだことに伴い、「ＢＰＯ」が増収した。
- 顧客企業の採用需要は引き続き逼迫しており、既存主力サービスである「紹介」及び「ＢＰＯ」が伸張した。
- 主力サービスを売り込む中で、顧客企業の長期人材ニーズにも応えることができた結果、「派遣」が伸張した。

- 第１四半期連結会計期間より、2018年１月４日付けで連結子会社とした、株式会社ＢＯＤの実績を含めております。同社の実績は「ＢＰＯ」サービスに計上しております。
- 2018年12月期より、従来の「代行」サービスを、「ＢＰＯ」サービスに呼称を変更しております。
- 「ＢＰＯ」サービスは「アルバイト給与管理代行」、「マイナンバー管理代行」及び「年末調整事務代行」並びに株式会社ＢＯＤが行うＢＰＯサービスを合算しております。
- これらの数値は参考数値であり、監査法人の監査を受けておりません。

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

FY2018 ３Ｑ　セグメント業績
営業支援事業
（2018年１月～９月）

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

営業　FY2018 3Q　前年同期比較

【売上高増減要因】

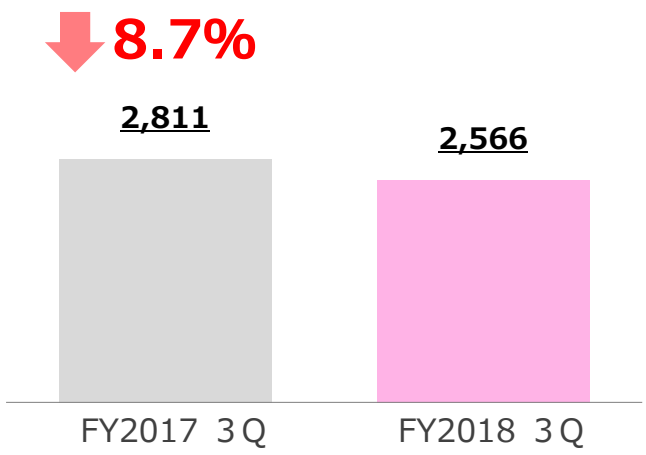
◆ 上期より継続して、通信商材の販売件数が伸び悩んだことで、前年同期比**8.7%の減収**となった。

【営業利益増減要因】

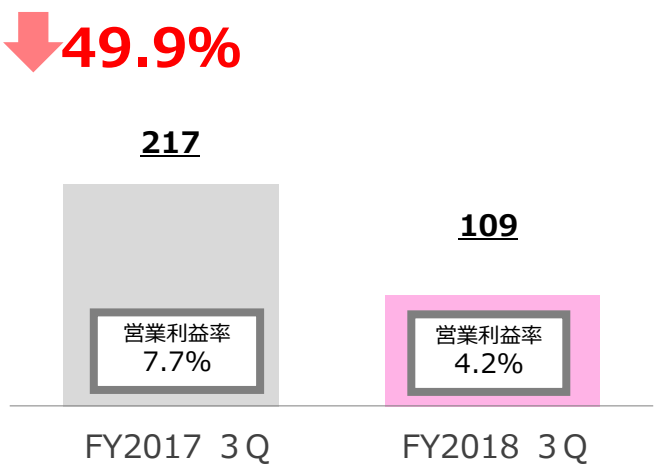
◆ 会計期間実績は、販管費の抑制により増益したものの、減収に伴い、前年同期比**108百万円の減益**となった。

- 営業支援事業は、主として「コールセンター事業」、「ＷＥＢ事業」及び「アライアンス事業」並びに「エンターテイメント事業」を行っております。
- 「コールセンター事業」及び「ＷＥＢ事業」並びに「アライアンス事業」は、いずれもインターネット回線の販売業務を行っております。

売上高　（百万円）



営業利益　（百万円）



Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

FY2018 ３Ｑ　セグメント業績
警備・その他事業
（2018年１月～９月）

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

警備・その他　FY2018 3Q　前年同期比較

【売上高増減要因】

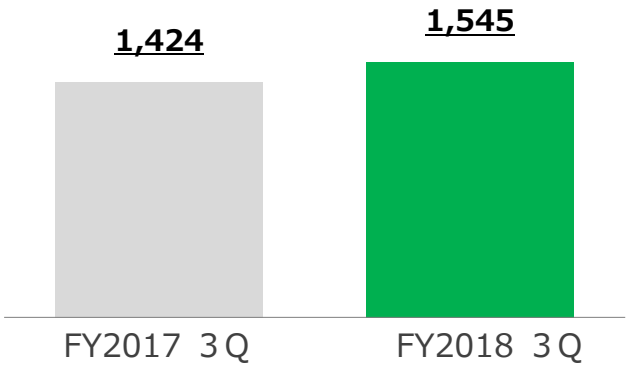
- 主として、警備事業において、常駐警備案件の獲得数を増加させたことで、前年同期比**8.5%の増収**となった。

【営業利益増減要因】

- 採算性を重視した営業活動を行い、利益率の高い常駐警備案件を獲得し、売上総利益率を改善させたことを主因とし、加えて販管費率を抑制できたことで、営業利益は前年同期比**46.8%の増益**となった。

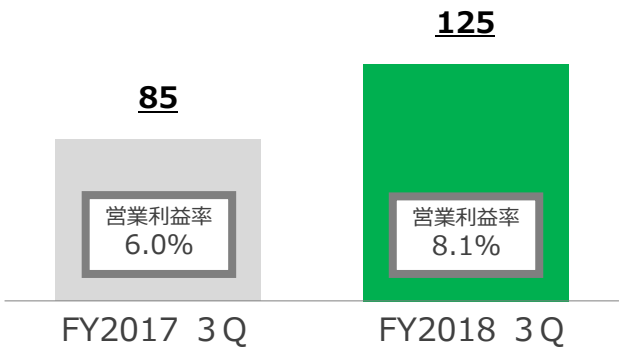
売上高　（百万円）

8.5%



営業利益　（百万円）

46.8%



Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

新会社の設立
及び営業開始について

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

新会社の設立及び営業開始について

●新会社の設立

FULLCAST GLOBAL

商　号　：　株式会社フルキャストグローバル
資本金　：　80百万円
事業内容　：　グローバル人材に特化した人材サービス

- 誰もが安心して働ける多様な就業機会を提供していくことを目的に、外国人を中心とした人材サービス（人材派遣・人材紹介）を提供する新会社「株式会社フルキャストグローバル」を2018年６月29日に設立し、2018年10月１日より営業を開始した。
- 就労活動に制限がない「永住者等」や資格外活動許可を受けることで一定の就労活動が可能となる「留学生等」といった、在留資格及び就労資格を有するグローバル人材を活用することを通して、顧客企業の人材ニーズに応える。
- 2018年12月期通期連結業績に与える影響は軽微である。

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

北海道胆振東部地震による影響について

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

北海道胆振東部地震による影響について

北海道胆振地方を震源とする地震により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。
北海道胆振東部地震による当社グループへの影響は、以下のとおりです。

●従業員の状況について

- ◆ 当社グループ従業員等への人的被害はございません。

●営業拠点の状況について

- ◆ 株式会社フルキャストの北海道における営業拠点（札幌営業課、札幌オフィス営業課、旭川営業課、函館営業課、帯広営業課）は、地震発生直後から、停電により営業を停止しておりましたが、９月７日以降は、順次営業を再開しております。
- ◆ 株式会社エフプレインの北海道における営業拠点（札幌支店）は、地震発生直後から停電により営業を停止しておりましたが、９月９日以降は、通常通り営業を行っております。

●業績への影響について

- ◆ 北海道胆振東部地震による、2018年12月期通期業績に与える影響は、軽微であります。

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

FY2018 ３Q　業績予想進捗

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

FY2018 ３Q　業績予想進捗

- 第３四半期連結累計期間実績は、修正した通期業績予想に対して、売上高74.7%、営業利益76.6%、経常利益76.4%、親会社株主に帰属する四半期純利益76.7%の進捗率である。
- 引き続き、顧客企業の旺盛な採用需要を取り込むことにより、修正業績予想の達成を目指す。

（百万円）

		FY2018 ３Q	FY2018 通期予想（修正業績予想）	進捗率
売上高		28,204	37,780	74.7%
売上総利益		12,072	16,272	74.2%
営業利益		4,302	5,620	76.6%
経常利益		4,357	5,700	76.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益		2,929	3,819	76.7%
短期業務支援事業	売上高	24,093	32,375	74.4%
	紹介	4,046	5,579	72.5%
	BPO	4,351	5,733	75.9%
	派遣	13,125	17,629	74.5%
	請負	2,571	3,434	74.9%
営業支援事業	売上高	2,566	3,336	76.9%
警備・その他事業	売上高	1,545	2,069	74.7%

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

（参考）資本政策の基本的な方針

■資本政策の基本的な方針

当社グループは「持続的な企業価値向上」を実現するために、適切な資本効率性及び財務健全性を保持することを基本的な方針とします。

- ◆「企業価値向上」を支える指標として、適切な資本効率性を保持するため、株主還元の目標を調整後当期純利益(※)に対する総還元性向50%としております。
- ◆調整後当期純利益に対するROE20%以上を「企業価値向上」を示す目標指標としております。
- ◆「企業価値向上」を実現するため、また適切な財務健全性を確保するためDEレシオ上限0.5倍としております。

※　「調整後当期純利益」とは、繰越欠損金に対する繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の影響を除いた親会社株主に帰属する当期純利益であります。当社では、「調整後当期純利益」を総還元性向及びROE算出の基礎として使用しております。

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved

すべての人をいちばん輝ける場所へ。

BNY MELLON
DEPOSITARY RECEIPTS

米国預託証券プログラム：

プログラムの種類：Level-1 スポンサー付き

原株との交換比率：1ADR = 原株1株
米国証券ｺｰﾄﾞ（CUSIP）：35968P100

Symbol：FULCY
預託銀行：バンクオブニューヨークメロン

240 Greenwich Street, New York, NY 10286, U.S.A.
TEL：(212) 815-2077
U.S. Toll Free：(888) 269-2377 (888-BNY-ADRS)
Web Site：http://www.adrbny.com/dr_profile.jsp?cusip=35968P100

【お問い合わせ先】

IR課 ： 03 - 4530 - 4830
URL ： http://www.fullcastholdings.co.jp/ir
Email ： IR@fullcast.co.jp

Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。

Copyright © 2018 by FULLCAST HOLDINGS CO., LTD. All rights reserved